

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

小学校 第6学年 「算数（学校図書）」

123時間（70%）

| 週 | 指導事項 | 単元名 | 小単元名 | 時間数 | 留意点 |
|--------------------------|--|------------------|---------------------------|-----|---|
| 1 | D (2) ア (7) イ (7) | 1. ならべ方と組み合わせ方 | ①ならべ方 | 4 | ・表や樹形図を用いて調べる活動を入れる。 |
| | | | ②組み合わせ方 | 2 | ・図、表、式を用いて、落ちや重なりのないように調べる活動を入れる。 |
| | | | できるようになったこと、単元のまとめ等 | 1 | ・できるようになったことは①～②の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。 |
| 2 | | 7時間 | | | |
| 3 ・ 4 | A (2) ア (7) イ (7) | 2. 文字と式 | ①いろいろな数量を表す式 | 2 | ・□の代わりに、xなどの文字を用いた数量の大きさを扱う。 |
| | | | ②変化する数を表す式 | 1 | |
| | | | ③文字にあてはまる数 | 3 | |
| | | | ④式を読む | 1 | ・1つの式からいろいろな具体的な場面をつくり、文字を用いた式の一般性について扱う。 |
| | | | できるようになったこと、単元のまとめ等 | 1 | ・できるようになったことは①～④の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。 |
| | | | 8時間 | | |
| 4 | A (1) ア (7) (イ) イ (7) | 3. 分数と整数のかけ算とわり算 | ①分数×整数の計算 | 2 | |
| | | | ②分数÷整数の計算 | 4 | ・途中で約分すると簡単に計算できることを扱う。 |
| | | | できるようになったこと、単元のまとめ等 | 1 | ・できるようになったことは①～②の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。 |
| 5 | | 7時間 | | | |
| 4 ・ 5 ・ 6 | A (1) ア (7) (イ) イ (7) | 4. 分数×分数 | ①分数×分数の計算 | 5 | |
| | | | ②いろいろな計算 | 2 | |
| | | | ③計算のきまり | 1 | |
| | | | ④逆数 | 1 | |
| | | | できるようになったこと、単元のまとめ等 | 1 | ・できるようになったことは①～④の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。 |
| | | | 10時間 | | |
| 7 | A (1) ア (7) (イ) イ (7) | 5. 分数÷分数 | ①分数÷分数の計算 | 6 | |
| | | | ②どんな式になるかな | 1 | 数直線、図を基に、立式することを扱う。 |
| | | | できるようになったこと、単元のまとめ等 | 1 | ・できるようになったことは①～②の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。 |
| 8 | | 8時間 | | | |
| 8 ・ 9 | A (1) ア (7) (イ) イ (7) | 6. 小数と分数の計算 | ①小数と分数の混じった計算 | 2 | |
| | | | ②いろいろな問題 | 1 | ・図や式、数直線を活用しながら考えさせる。 |
| | | | できるようになったこと、単元のまとめ等 | 1 | ・できるようになったことは①～②の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。 |
| | | | 倍の計算、アクティブ、4マス関係表がわかりやすいね | 3 | ・分数倍の計算を図や式、数直線を活用しながら考えさせる。 |
| 10 | | 7時間 | | | |
| 9 | B (1) ア (4) イ (7) | 7. 対称 | ①線対称な図形 | 5 | ・対応する辺、角、点の意味を知り、線対称な図形の性質を扱う。 |
| | | | ②点対称な図形 | 4 | ・点対称な図形の作図は個別に対応しながら丁寧に扱う。 |
| | | | ③多角形と対称 | 2 | |
| | | | できるようになったこと、単元のまとめ等 | 1 | ・できるようになったことは①～③の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。 |
| | | | 12時間 | | |
| 10 | B (2) ア (7) イ (7) B (3) ア (7) イ (7) | 8. 円の面積 | ①円の面積 | 1 | ・方眼の数を数えたり、およその形とみたりして求積する。 |
| | | | ②円の面積を求める公式 | 1 | |
| | | | ③いろいろな面積 | 1 | |
| | | | ④およその面積 | 2 | |
| | | | できるようになったこと、単元のまとめ等 | 2 | ・できるようになったことは①～④の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。 |
| | | | 7時間 | | |
| 11 ・ 12 ・ 13 | B (2) ア (7) イ (7) B (4) ア (7) イ (7) | 9. 立体の体積 | ①角柱の体積 | 2 | ・直方体の体積の求め方から類推することを扱う。 |
| | | | ②円柱の体積 | 1 | |
| | | | ③くふうして体積を求める問題 | 1 | |
| | | | ④およその体積 | 1 | |
| | | | できるようになったこと、単元のまとめ等 | 1 | ・できるようになったことは①～④の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。 |
| | | | 6時間 | | |

| | | | | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|------------|------------------------------|---|---|
| 14 ・ 15 ・ 16 ・ 17 | C (2) ア (7) イ (7) | 10. 比とその利用 | ①比と比の値 | 2 | |
| | | | ②等しい比 | 4 | ・既習の割合と比を統合的に扱う。 |
| | | | ③比の利用 | 2 | |
| | | | できるようになったこと、単元のまとめ等 | 2 | ・できるようになったことは①～③の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。 |
| 10時間 | | | | | |
| 18 | B (1) ア (7) イ (7) | 11. 拡大図と縮図 | ①図形の拡大図・縮図 | 2 | ・方眼を用いて辺の長さを比べたり、図形の角を切り取って重ねたりするなど工夫する。 |
| | | | ②拡大図と縮図のかき方 | 5 | |
| | | | ③縮図の利用 | 1 | |
| | | | できるようになったこと、単元のまとめ等 | 1 | ・できるようになったことは①～③の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。 |
| 9時間 | | | | | |
| 18 | C (1) ア (7) (4) イ (9) イ (7) | 12. 比例と反比例 | ①比例 | 6 | |
| | | | ②比例のグラフ | 2 | |
| | | | ③比例の性質の利用 | 2 | |
| | | | ④反比例 | 3 | ・式、グラフ、表を関連させて扱う。 |
| | | | できるようになったこと、単元のまとめ等 | 2 | ・できるようになったことは①～④の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。 |
| 15時間 | | | | | |
| 19 ・ 20 ・ 21 | D (1) ア (7) (4) イ (9) イ (7) | 13. 資料の整理 | ①代表値 | 3 | ・ドットプロットに表して、散らばりの様子を調べる活動を入れる。 |
| | | | ②度数分布表と柱状グラフ | 2 | |
| | | | できるようになったこと、単元のまとめ等 | 1 | ・できるようになったことは①～②の過程で、問題を精選して扱ったり、家庭学習で扱ったりする。 |
| 6時間 | | | | | |
| 19 ・ 20 ・ 21 | D (1) ア (7) (4) イ (9) イ (7) | 14. データの活用 | ①PPDACサイクル | 2 | |
| | | | ②データの活用 | 1 | ・「13. 資料の整理」と関連させて扱う。 |
| | | | できるようになったこと、単元のまとめ等 | 1 | |
| 4時間 | | | | | |
| A~D | | 15. 算数のまとめ | ①算数の復習をしよう ②中学校へのかけ橋 (別冊) | 7 | ・プログラミングを扱っても良い。 ・中学校へのかけ橋 (別冊) は児童の実態に応じて問題を精選したり、家庭学習を利用したりしながら工夫して扱う。 |
| 7時間 | | | | | |

※時間数の精選方法 (例)

○「算数の復習をしよう」「中学校へのかけ橋」は、6学年の内容終了後に実施する。

- ・6年生での学習内容を中心に教育課程を編成します。
- ・各単元の学習と関連させたり、休日を利用したりしながら、6年生の指導内容と並行して扱うことも考えられます。
- ・年度末に一部の単元・問題を選んで実施する場合は、児童の実態を考慮します。

○授業中は学習の動機付けや考えを全体で交流して学びを深める活動に重点をおく。

- ・問題練習や模型の作成等、授業中十分時間をとることのできない内容や活動などは家庭学習を利用します。

○指導内容に基づき、授業中に扱う考えや活動を精選する。

○見方・考え方や学習のまとめ、つながりを大切に単元計画を構想する。

- ・数学的な見方・考え方を働かせながら学習できるように、「見方・考え方」のコメントなどを大切にしながら授業を計画します。
- ・単元末には学習した内容を使って問題を解決し、単元全体の学習を振り返ります。